



木をつかう vol.3

木材利用事例集

お問合せ 一般財団法人 大阪府みどり公社
森林整備・木材利用促進支援センター
〒541-0054
大阪市中央区南本町 2-1-8 創建本町ビル 5 階
TEL : 06-6563-7321
E-mail : shien@osaka-midori.jp

発行者 大阪府／一般財団法人 大阪府みどり公社

発行年月 2022 年 3 月

印刷・編集 株式会社ウイルハーツ

木になる紙

この紙は「木になる紙」A2マット 70.5kg を使用しています



公共施設での木材利用を考える

木材利用を進めることは地域の森林の整備・保全につながります。
多くの方々にこのことを知ってもらい、関心を持ってもらうためにも、
公共施設で積極的に木を使い、木に触れて、その良さを感じてもらうことが重要です。

施設の場所や用途、利用頻度、メンテナンスなど様々な要素を考慮し、
木の特性を活かした効果的な利用方法を計画して、快適な木の空間を創出しましょう。



CONTENTS



大阪府内産木材利用促進モデル整備等業務（令和3年度森林環境譲与税活用事業）

- 3 大阪府内産木材利用促進モデル整備等業務（その1）
大阪府咲州庁舎1階フェスパ
- 5 大阪府内産木材利用促進モデル整備等業務（その2）
大阪府立中央図書館1階 カフェスペース・展示コーナー



令和2年度森林環境譲与税活用事例

- | | | | |
|------------|--|----------|--------------------------------|
| 7 大阪市 | 大阪市立中央図書館地下1階「Hon+α!」スペース | 12 摂津市 | 摂津市立鳥飼小学校ほか、14校 |
| 8 大阪市 | 大阪市立中央図書館ほか、23館 | 12 守口市 | 守口市庁舎（庁舎1階イトインコーナー、庁舎2階情報コーナー） |
| 8 大阪市 | 大阪市立東田辺小学校ほか、24校 | 13 守口市 | 守口市庁舎（庁舎1・3階赤ちゃんの駅、庁舎3階もりランド） |
| 9 大阪市 | 大淀保育所、松之宮保育所ほか、公立保育所59か所 | 13 守口市 | にじいろ認定こども園、おおぞら認定こども園、外島認定こども園 |
| 9 大阪市 | 大阪市立信太山青少年野外活動センター（宿泊棟ロビー、キャンプサイト） | 14 東大阪市 | 花園小学校、玉串小学校、楠根小学校、楠根中学校 |
| 9 大阪市東成区 | 東成区役所（ふれ愛バンジー） | 14 八尾市 | 八尾市保健センター |
| 10 大阪市旭区 | 大阪市旭区民センター | 14 八尾市 | 八尾市立西郡そよかぜこども園ほか、4園 |
| 10 大阪市住之江区 | 住之江区役所 | 15 松原市 | 市内公共施設 |
| 10 大阪市東住吉区 | 東住吉区役所 | 15 松原市 | 鯉野池オアシス広場 |
| 11 吹田市 | 吹田市立中央図書館 | 15 藤井寺市 | 藤井寺市庁舎2階 ふじいでら子育て世代包括支援センター |
| 11 吹田市 | 吹田市立建都ライブラリー | 16 千早赤阪村 | 子育て出産お祝い事業 |
| 11 茨木市 | IBALAB@ 広場（市民会館跡地暫定広場）及びリノベいばらき DIY 工房2階 | 16 田尻町 | 田尻町立幼稚園・保育所（たじりエンゼル） |
| | | 16 岬町 | みさき公園駅前観光案内所 |



建築物事例

- | | | | |
|--------------------------|----------------------|----------------|--------------------------|
| 17 和泉市 | 和泉市新庁舎 | 21 神戸市 | 六甲最高峰トイレ |
| 17 堺市 | さかいっこひろば（ジョルノ3階） | 22 神戸市 | 神戸市立名谷図書館 |
| 18 堺市 | バスポートさかい（ジョルノ2階） | 22 西脇市 | 西脇市庁舎・市民交流施設 |
| 18 堺市 | 百舌鳥古墳群ビジターセンター | 23 黒滝村 | 黒滝村役場 |
| 19 守口市 | 守口市立さくら小学校 | 24 西粟倉村 | あわくら会館 |
| 20 河内長野市 | イズミヤ ゆいテラス 河内長野 | 25 学校法人 片山学園 | 小郡幼稚園 |
| 20 スターバックス コーヒー ジャパン株式会社 | スターバックス コーヒー 河内長野高向店 | 26 各務原学びの森株式会社 | KAKAMIGAHARA PARK BRIDGE |



大阪府内産木材利用促進モデル整備等業務（その1）

大阪府咲洲庁舎1階フェスパ

庁舎

写真撮影：大阪府みどり公社



ランドアート全景



ランドアート（起伏がある床）



ユニット配置

大阪府咲洲庁舎1階フェスパの中央に生まれた、空間でも家具でもない、起伏する床や壁で構成されるランドアート。庁舎で働く人、訪れる人が何気ない日常の中で自然と入り込む樹木たちの生き生きとした姿にいつの間にか癒され、心安らいでいたことに気がつく憩いの場・集える場を創出した。併せてその南側にもスタンディングテーブルやベンチ等の木製什器を設置。

今回の提案では、通常、節のない木材を使う部分にも、あえて二等・一等・特一等など、本来隠れる部分に用いるような並材を利用し、「森の在庫」バランスに則った木材利用に徹し、間伐材を有効に使い切ることを大切にしている。

また、ランドアートの骨組み（軸組）部分は、伝統在来工法で施工している。正面に見える梁の継手にも金輪継ぎを使っており、手で触れて感じ取れる部分でもそれが確認できる。

現在、木材を使う現場での大きな問題点として、ノミや鉋などの手動具を用いて施工できる大工職人の不足がある。日本の木造建築の文化を継承する職人を残していくために、若手の後継者を育てる観点からも積極的に伝統在来工法を取り入れた。

所在地 大阪府大阪市住之江区
延べ床面積 約 390 m²（改修部分面積）
使用木材 【ランドアート（スロープ・ルーバー・床・水路蓋含む）】
スギ 23.15 m³ / ヒノキ 3.20 m³
【家具類（ベンチ・テーブル・スツール）】
スギ 4.35 m³

木材使用量 30.70 m³（大阪府産材）
設計／施工 大阪百年の森共同企業体
（株式会社南河内林業、有限会社デコラティブモードナンパースリー、株式会社東野材木店、飛騨産業株式会社、株式会社藤木工務店）
竣工年月 2022年3月

※プロポーザルの詳細な資料については大阪府 環境農林水産部 みどり推進室 森づくり課までお問い合わせください。

木造化

木質化

木製品

具体的な提案内容（プロポーザル時）

LANDART-Landscape+Art-

ランドアート・身近な自然を感じる為に
100年の環境再生と100年の未来

「ここ来ると、心の気づきや、身体喜び、発見がある」そんな時間を生み出すための空間を目指し、大阪府産木材活用のためのシンボル空間をつくりだす。咲洲庁舎の高層タワーの一階。訪れる人々へ、木質化によってひとときの健やかな時間を空間として構築する。

五感

見る・聴く
味わう
嗅ぐ・触れる

大阪府産木材は、京都府・兵庫県・和歌山県・奈良県の県境に差し掛かる山合いで植林が行われている。市街地で暮らす人たちは、自宅の庭や通勤・通学途中の街路樹、公園に植えられた樹木から日々癒しや安らぎを得ているが、森や山の中で、自分たちよりもはるかに大きな木々に囲まれた体験をこの場所でゆるやかに感じとってほしい。

樹木が育つ大地を模して、
小さな丘や大きな山が生み出す街のような
森のような居場所

些細な環境・感覚の変化から、木と共に過ごす時間を見つけだし知らない間に日常の気づきに生かされる。「年齢問わずに持っている感覚から、木々との距離がより近くなる」憩い・安らぎを再確認できるような空間体験。

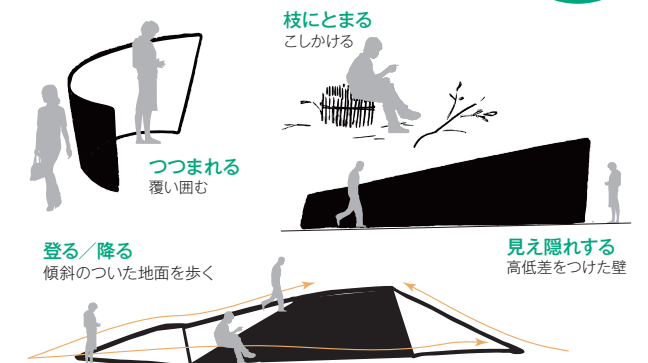
大地を作る起伏、ランドアート



提案時のイメージベース

盛り（森）による居場所の提案

空間でも家具でもない、起伏する床壁によって生まれた場所が、溜まり場や待ち合わせなどの居場所となる。

森の語源は
“盛り”

施工プロセス

100年後の森林の未来のための施業を軸とする「森の在庫」をもとにした流通モデルを構築した。実際に行われる森林経営計画に基づいた「間伐」で搬出された木材を利用することを前提とした。河内林業地では皆伐（すべての木を切る）は僅かで、間伐が基本となるので、今後も産出されるのは間伐材が主である。

1.作業道をつくる



次世代が搬出しやすいように作業道をつくることからスタート。

2.伐採



木々が根を張り、下草が生えることで安定した森林をつくるために、間伐を行うのが河内林業地の基本である。

3.搬出



計画をもとに今回の設計に準じた丸太を搬出する。「森の在庫」から必要な分を搬出する。

4.仕分け・製材



施工の内容に基づいて、製材を行う。丸太の太さにより、取れる資材が異なる。

5.圧縮



6.乾燥



自然乾燥から機械乾燥に入る。

7.仕上げ



8.施工・製造



製材されてくる木材を見極めながら施工。



大阪府内産木材利用促進モデル整備等業務（その2）

大阪府立中央図書館1階 カフェスペース・展示コーナー

図書館

写真提供：一級建築士事務所 ROOTE 株式会社



杉の角材を積み上げた「展示ウォール」、「まん中ブース」、「学びバーゴラ」によって構成したラウンジ。

北東側と南西側の既存壁面には、書物やパンフレットを平置きできる展示棚をはめ込んだ「展示ウォール」を設置し、既存柱の周りには、ベンチ・展示台・カウンターを設けた「まん中ブース」を設置、「展示ウォール」と「まん中ブース」の間には、緩やかにスペースを分節するように、カウンターの付いた3つの「学びバーゴラ」を設けている。「展示ウォール」、「まん中ブース」、「学びバーゴラ」によって分節され、木に囲われたスペースには、広く使えるテーブル席、打ち合せ等にも使えるブースのテーブル席、個人の学びの場にも使えるカウンター席等、利用者が思い思いに過ごすことのできる場を設けている。また、テーブルやチェアを移動することで、展示イベントや講演会、読み聞かせイベント等の多様なイベントにも対応できる計画となっている。

積み上げる角材は 100% 大阪府産材で、一般流通材の寸法である 105 角と 120 角のものを使用しており、他の施設にも参照できるモデル性のある計画とするとともに、この計画で使用している材料自体も他の施設への再利用や住宅への転用等も可能な計画としている。

テーブルやチェアは収納や移動性、強度等を考慮し、脚をスチールとして、天板・座面・背板を 99% 大阪府産材の杉板を使用している。

所在地 大阪府東大阪市
延べ床面積 約 170 m²（改修部分面積）
使用木材 【ウォール・ブース・バーゴラ】
杉角材：南河内産 100%（105 角材：10 m²、120 角材：13 m²）
【家具】
杉板材：大阪府産 99%（3.4 m²）
木材使用量 27 m³（大阪府産）
設計監理 一級建築士事務所 ROOTE 株式会社
施工会社 株式会社千早銘木
竣工年月 2022 年 2 月

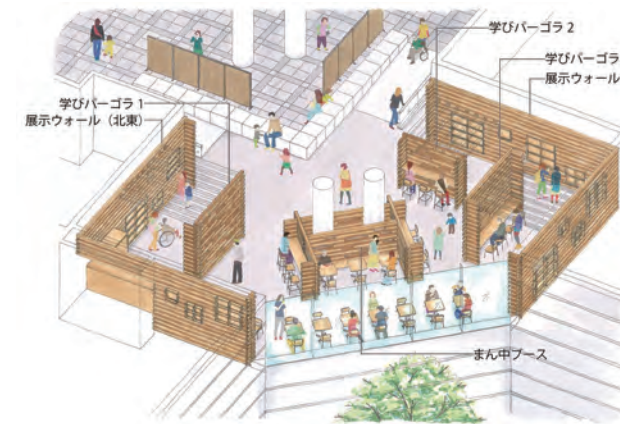
※プロポーザルの詳細な資料については大阪府 環境農林水産部 みどり推進室 森づくり課までお問い合わせください。

木造化

木質化

木製品

具体的な提案内容（プロポーザル時）



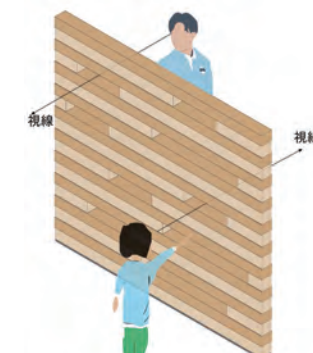
▲「積み木ラウンジ」全体パース



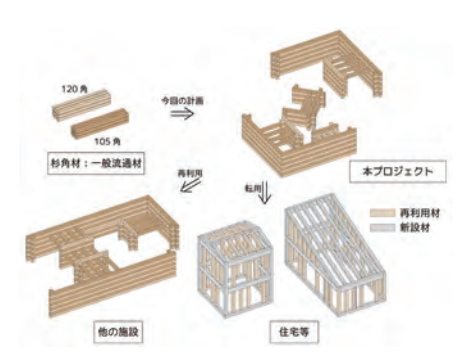
▲構法



▲木材



▲透かし壁



▲再利用・転用（一般流通材）

施工プロセス

大阪府内の森林で伐採された丸太は千早赤阪村にある木材共販所に出荷される。共販所で原木を樹種、太さ、長さ、品質等で仕分けられる。製材所が買い付けた原木は先ずは皮むき処理をおこない、柱や板の製材をおこなう。次に製材された木材の乾燥をおこなう。製材したての木材は水分が多く、乾燥する途中で収縮、変形、反りが出るため乾燥機で含水率を落として木材の品質を安定させる。乾燥後仕上げ加工をおこない、施工現場に搬入され、施工をおこなう。

1.伐採



チェーンソーにより切り込みを入れ、クサビを打ち込む

2.原木



原木は径（太さ）で分別されて、径（太さ）毎にまとめて置かれる

3.皮むき処理



皮むき機により木の皮を剥く

4.製材



乾燥による表面の割れを少なくするため、割れて欲しくない面にボンドを塗って乾燥機に入れる

5.乾燥



乾燥機により、低温乾燥（50℃程度）を行っている。低温乾燥は高温に比べて、時間はかかるが、木本来の香りや色を保持できる

6.搬入



12月20日より製材された木材の搬入を開始

7.施工（木材の積層）



施工（透かし壁）



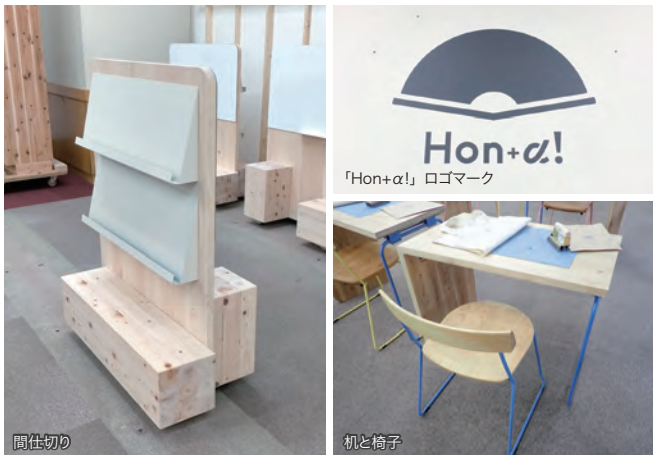


大阪市

大阪市立中央図書館地下1階「Hon+α!」スペース

図書館

写真提供：大阪市



図書館への市民ニーズの変化などに対応するため、「大阪市立中央図書館施設活用構想」の基本的な方針を整備コンセプトとし、中央図書館地下1階の閲覧室を一部リニューアルした。国産木材の良さを活かした使いやすくデザイン性に富んだ家具等を設置することで、国産木材の普及啓発に努めるとともに、木の香りとぬくもりを感じる居心地のよい公共空間を作り、名称を「Hon+α!」スペースとした。

「Hon+α!」は、「本（ほん）プラスアルファ、大阪弁で「ほな行こか」、「ほな何かしよか」など能動的に呼びかける意味もある「ほな」、Happen（何かが起こり）、Open（広がり）、Networking（つながっていく）の意味を込めている。本などの資料だけでなく、ワークショップなどを通して、人やネットワーク情報との新しい出会い、また未知の発見がある場所をめざしている。

担当課 教育委員会事務局 中央図書館 総務担当
事業費 29,403 千円（全額譲与税）
実績 ※使用木材はすべてスギ・ヒノキ（大阪府産）
AVルーム外側壁面板張り 約 35 m²/柱板張り 約 16 m²
床スペース 約 32 m²/間仕切り/可動式展示架 6 台
閲覧机（スタッキング）60 台/椅子（スタッキング）60 脚
電源タップタワー 9 台/掲示板 2 台/作業用机 2 台/作業用椅子 2 脚
会議机 2 台/会議用椅子 2 脚/物品棚 1 台
出入口/ミーティングルーム/ストックルームサイン 1 式
出入口掲示板 2 台/閲覧机用スタッキング収納カート 2 台
椅子用スタッキング収納カート 2 台/座卓（床スペース）2 台
レザークッション（床スペース）10 個/掲示板（床スペース）1 台
手摺（床スペース）1 式/サインプレート（床スペース）5 枚
ミーティングルーム/ストックルームドア 3 枚
市民ワークショップ 1 式
PR映像制作（普及啓発活動）1 式
ロゴデータ作成 1 式
その他（設計・企画費、工程管理費、現場施工費、既設撤去費、搬入設置費、共通仮設費等）1 式

デザイン・施工 大阪府森林組合・graf 有限会社アコラティブモードナン/バースリー・飛驒産業株式会社 共同企業体



大阪市

大阪市立中央図書館ほか、23館

図書館

写真提供：大阪市



担当課 教育委員会事務局 中央図書館 総務担当
事業費 43,370 千円（全額譲与税）
実績 ※使用木材はすべて国産
【此花図書館・天王寺図書館】
書架 5 種 計 16 台/絵本架 2 種 計 3 台 使用木材：ヒノキ
【浪速図書館】小型本箱 20 台 使用木材：クス
【北図書館・西成図書館・福島図書館・城東図書館】
書架 6 種 計 16 台/小型書架 2 種 計 4 台/絵本架 2 台 使用木材：ヒノキ
【生野図書館・住之江図書館・大正図書館】
書架 4 種 計 18 台/絵本架 1 台 使用木材：ヒノキ
【中央図書館ほか 12 館】
椅子 3 種 計 113 脚/椅子（子ども向け）2 種 計 16 脚/椅子（幼児向け）10 脚/椅子（シニア向け）14 脚/ベンチ 3 種 計 8 台/長机 3 種 計 6 台/閲覧机 2 台/閲覧机（児童用）2 台/机 1 台/小机 3 種 計 14 台/拡大読書器用机 5 台/ハイテーブル 6 台/カウンターテーブル 2 種 計 10 台/ハイチェア 6 脚/カウンターチェア 12 脚 使用木材：ヒノキ・ナラ
【中央図書館ほか 7 館】
演台 1 台/記載台 1 台/卓上展示台 1 台/ブックトラック 11 台/新聞掛 1 台/新聞差 1 台/展示ケース（傾斜型）3 台/展示ケース（水平型）1 台/防湿対策用すのこ 6 台 使用木材：ヒノキ
【中央図書館】
飛沫防止机上衡立（単体用）400 台/飛沫防止机上衡立（連結用）800 台/受台 1900 台/連結材 300 台 使用木材：ヒノキ
木製ゴミ箱 10 台/卓上イーゼル 520 台/折りたたみ式木製バリケード 5 台 使用木材：スギ
【全館共通】
森林普及啓発図書 計 896 冊
森林普及啓発電子書籍等デジタルコンテンツ 計 29 点



大阪市

大阪市立東田辺小学校ほか、24校

小学校・中学校

写真提供：株式会社光楠



教育環境改善の一環として、教室用机・椅子の整備を行い、また、図工室の工作台・角椅子の製作に活用した。
本事業の実施にあたり、国産材の使用・森林環境譲与税の活用を記したシールを製品に貼り、児童・生徒に森林整備や木材利用の重要性を伝えている。
美しい木目や温かい色合いは、学校関係者や児童・生徒の評価も高く、大切に使用されている。

担当課 教育委員会事務局 総務部 施設整備課
事業費 64,187 千円（全額譲与税）
実績 ※使用木材はすべて国産、一部大阪府産
教室用机・椅子 2,200 セット 使用木材：ヒノキ、ヒバ
図工室用 木製教卓 4 台 使用木材：ヒノキ
図工室用 生徒用工作台 28 台 使用木材：ヒノキ
図工室用 角椅子 200 脚 使用木材：ヒノキ



大阪市

大淀保育所、松之宮保育所ほか、公立保育所59か所

保育所

写真提供：大阪市



公立保育所（公設置公営）において、玩具・遊具及び、児童が直接触れる家具・備品類について、耐久性があり、児童の豊かな感性を育む効果が期待できる木製製品を導入し、児童の健やかな育成を目指す。

令和2年度は玩具、ロッカーや棚等の国産の木材を使用した家具の購入を行った。従来から保育所現場における木製家具の需要は高かったものの、比較的価格が高額なため代替品を選択するなど購入にはいたらなかった。そのため、今回の木製製品の購入は、現場担当者及び保護者等から非常に好評であった。

担当課 こども青少年局 保育施策部 保育所運営課
事業費 26,865 千円（全額譲与税）
実績 ※使用木材はすべて国産
【大淀保育所】ロッカー、棚、パーテーション、フロアタイル 計 58 台
使用木材：スギ
【松之宮保育所】ロッカー、棚、パーテーション 計 67 台
使用木材：スギ
【公立保育所 48 箇所】棚 計 135 台 使用木材：ヒノキ
【公立保育所 60 箇所】玩具 計 236 個 使用木材：スギ、ヒノキ



大阪市

大阪市立信太山青少年野外活動センター（宿泊棟ロビー、キャンプサイト）

青少年野外活動施設

写真提供：大阪市



当施設は、主に小学校、保育所、幼稚園などの学校園団体や、子育て層などの家族連れ等のグループ利用があり、野外活動等の体験の場として、多くの市民に利用されている。屋外でのバーベキューなどが楽しめる野外炊事場を設置しており、老朽化したテーブル・ベンチを、国産木材を使用して木の温かみが感じられるテーブル・ベンチにリニューアルすることができた。また、宿泊棟内のロビーや談話コーナーなどのテーブル・ベンチについても、国産木材を用いて木質化することで、室内でも自然の温かみを感じられる居場所スペースができた。利用することも達が自然と触れ合い、木の良さを実感する場が増え、施設が提供する自然とのふれあいや創造活動にもつながるものとなっている。

担当課 こども青少年局 企画部 青少年課
事業費 4,180 千円（全額譲与税）
実績 ※使用木材はすべてスギ（国産、一部大阪府産）
屋外用テーブル・ベンチ（一体型） 40 セット
屋内用テーブル 11 台
屋内用ベンチ 14 台



大阪市東成区

東成区役所（ふれ愛パンジー）

庁舎

写真提供：大阪市東成区



東成区における豊かなコミュニティを醸成していくための区民交流施設「ふれ愛パンジー」に国産木材を使用した机・椅子を整備した。

購入に際しては、「ふれ愛パンジー」を利用する利用者の安全面に配慮した角に丸みを帯びた形状と木材が持つ温もりを肌で感じ取れるよう木目や木の質感がわかるデザイン・仕様になっている。

担当課 東成区役所 市民協働課
事業費 391 千円（全額譲与税）
実績 ※使用木材はすべてスギ（国産）
折り畳み可動テーブル（楕円型） 1 台
スタッキングチェア（椅子） 4 脚



大阪市旭区

大阪市旭区民センター

区民センター

写真提供：大阪市旭区



国産木材製のベンチ、展示ボード、パンフレットラックを旭区民センターに設置することにより、広く利用者が木に触れ、その良さを実感する環境を整備した。木製ベンチについては、実際に見て、触れて木の良さを感じてもらえるよう座面の素材に無垢材を指定、設置場所の広さに合わせた寸法で製作・購入を行った。ガラス張りの明るい渡り廊下に木製ベンチを設置したことで、さらに明るい光溢れる空間が生まれ、利用者から好評を得ている。木製展示ボードについては、森林環境譲与税やSDGsの取組みに係る常設展示に活用しており、国産木材の利用、普及啓発、促進に寄与している。また、区マスコットキャラクターをデザインした間伐材を材料とするアメニティグッズについては、成人式など区の行事において活用することで木材の普及啓発に寄与している。

担当課 旭区役所 市民協働課
事業費 2,719 千円（全額譲与税）
実績 ※使用木材はすべてヒノキ（国産）
背もたれありベンチ 8 脚・背もたれなしベンチ 13 脚
展示ボード 8 台・パンフレットスタンド 2 台
アメニティグッズ（木製コースター） 1,800 個
アメニティグッズ（木製カップ麺フタ止め） 1,500 個



大阪市住之江区

住之江区役所

庁舎

写真提供：大阪市住之江区



乳幼児健診や発達相談等で来庁する親子等に、木の温かみや香りを感じながらリラックスして施設を利用してもらうため、また、木製品に直接触れて親しんでもらうことで木材や森林のことに興味や関心を持ち、考える機会を提供するために、昨年度に引き続き、区役所内の相談室等に国産のスギやヒノキを使ったフローリングブロックやオープン棚、収納付きベンチ、掲示ラックを整備した。

担当課 住之江区役所 保健福祉課 保健福祉センター
事業費 1,439.9 千円（全額譲与税）
実績 ※使用木材はすべて国産
上部壁面付3段オープン棚 2 台 使用木材：ヒノキ
上部壁面付2段オープン棚 2 台 使用木材：ヒノキ
3段オープン棚 1 台 使用木材：ヒノキ
収納付ベンチ 2 台 使用木材：ヒノキ
掲示ラック 3 台 使用木材：ヒノキ
フローリングブロック 150 枚 使用木材：スギ



大阪市東住吉区

東住吉区役所

庁舎

写真提供：大阪市東住吉区



東住吉区では、「子どもが輝き、みんながしあわせなまち」を区の将来像に掲げ、「子育て層が多く訪れる保健福祉センター（区役所内）におけるキッズコーナーや健診・育児相談を実施するスペースに、国産材を使用した簡易フローリングや絵本棚、おもちゃ等を整備し、親子で木の温かみを感じてもらうことで、木材の利用促進や普及啓発を図っていく。

子育て層が多く訪れる保健福祉センター（区役所内）におけるキッズコーナーや健診・育児相談を実施するスペースに、国産材を使用した簡易フローリングや絵本棚、おもちゃ等を整備し、親子で木の温かみを感じてもらうことで、木材の利用促進や普及啓発を図っていく。

担当課 東住吉区役所 保健福祉課
事業費 414.7 千円（全額譲与税）
実績 ※使用木材はすべて国産
簡易木材フローリング（1.8m×1.8m） 2ヶ所 使用木材：ヒノキ
絵本棚 3 台 使用木材：ヒノキ
木製玩具（5種類） 3セット 使用木材：ヒノキ
木製玩具（寄木の積木） 3セット 使用木材：スギ・サクラ等 10 種
まな板（中） 20 個 使用木材：ヒバ
まな板（大） 3 個 使用木材：ヒバ



吹田市

吹田市立中央図書館

図書館

写真提供：吹田市



国産木製の家具には全て銘板を貼り、啓発活動を行った。
児童閲覧コーナーは、森林を想像できるような雰囲気を作り、緑のカーペットや木株のクッションにすることで、親子で、木材利用の「気づき」となるようにした。特設コーナーでは、環境問題について考える書籍をそろえ、木を暮らしの中に取り入れることの大切さを考える機会を設けた。

担当課 地域教育部 中央図書館
事業費 9,449.55 千円（全額譲与税）
実績 ※使用木材はすべて国産
書架等 15 台 使用木材：ニレ
机 6 台 使用木材：ニレ
椅子 60 脚 使用木材：ナラ



吹田市

吹田市立健都ライブラリー

図書館

写真提供：吹田市



図書館利用者の多くが、目を止めることができる場所に設置した。
案内板については、多世代の利用者が、理解しやすく、興味が持てるようなものにした。利用者から、ヒノキの香りがし、落ち着くとの声があり、市内に森林がない本市では、案内板との相乗効果を発揮している。「自然と人」「森林のサイクル」に目を止めて、森林環境関係図書資料への関心を向けてもらうことができている。

担当課 地域教育部 中央図書館
事業費 13,451.97 千円（全額譲与税）
実績 ※使用木材はすべて国産
床材 約 1.3 m² 使用木材：スギ
壁材 約 0.2 m² 使用木材：スギ
化粧材 約 7.2 m² 使用木材：ヒノキ



茨木市

IBALAB@広場（市民会館跡地暫定広場）及びリノベのいばらきDIY工房2階

IBALAB@広場(市民会館跡地暫定広場)：パブリックスペース
リノベのいばらきDIY工房2階：リノベのいばらきプロジェクトの活動拠点
写真提供：茨木市

市役所前のIBALAB@広場(市民会館跡地暫定広場)に設置するベンチ等について、当該広場で実施のイベント内で作成ワークショップを実施した。また、リノベのいばらきDIY工房(活動人口の増加に向けて本市が実施するリノベのいばらきプロジェクトの活動拠点)2階のリノベーションにあたり、床張りワークショップを実施した。どちらもDIY初心者や子どもでも参加できる市民参加型のワークショップとして実施することで、みんなでまちをリノベーションし、まちの価値を高める機運の醸成を図るとともに、国産木材を使用することで国産木材の普及啓発及び木育に資するよう工夫した。参加者アンケートでは「初めて電動工具を使って楽しかった」、「木を使ったDIYを初めて体験した」などの声が多数あり、木材利用に興味・関心をもつきっかけにつながった。

担当課 企画財政部 政策企画課
事業費 1,238 千円（うち譲与税 614 千円）
実績 ※使用木材はすべて国産
【IBALAB@広場】使用木材：ヒノキ
木製ベンチ 5 台/木製バリアード 5 台/木製屋台 1 台
【リノベのいばらきDIY工房】使用木材：スギ
2階の床材 床面積 55.11 m²



摂津市

摂津市立鳥飼小学校ほか、14校

小・中学校 支援学級教室(カームダウンスペース)

写真提供：摂津市



支援学級在籍児童生徒が「感情のコントロール」や「余暇の過ごし方」を学習するために使用するカームダウンスペースを、市内小中学校全校に1台ずつ、大阪産材のヒノキを使って設置した。設計・製造を、本市銘木団地の大阪銘木青年会に依頼することにより、子どもたちが地元の産業に触れる機会にもつながっている。パーテーションの足の部分に、大阪銘木青年会のキャラクターの焼印を入れていただいた。これまでは、学校のあり合わせのもので作った簡易なスペースであったが、木製カームダウンスペースは、ヒノキのぬくもりや香りが直に感じられ、子どもたちが落ち着いて過ごせる空間となっている。学習机の横にパーテーションとして設置し、個別のブースを作っているケースもあり、より落ち着いた学習環境を整えることができている。

担当課 教育委員会事務局 教育総務部 教育支援課
事業費 3,300 千円（全額譲与税）
実績 ※使用木材はすべてヒノキ（大阪府産）
カームダウンスペース用パーテーション
各校1台（4枚1組）計15台



守口市

守口市庁舎（庁舎1階イトインコーナー、庁舎2階情報コーナー）

庁舎

写真提供：守口市



市庁舎の木質化に取り組み、大阪府産材や国内産材を使用した木製什器を庁内のイトインスペースや情報コーナーに設置し、木のぬくもりのあるくつろげる空間整備を行った。また、普及啓発用の看板展示をした。

担当課 総務部 総務課
事業費 7,037 千円（全額譲与税）
実績 ※使用木材はすべて国産、一部大阪府産
【1階イトインコーナー】
カウンターテーブル 6 台/スタッキングチェア（肘付） 18 脚
バーテーブル 2 台/バースツール 2 脚
テーブル 12 台/スタッキングチェア 42 脚
台形テーブル（キャスター付）10 台/肘付チェア 6 脚
15 角形テーブル 1 台/キッズチェア 2 脚/卓上パーテーション 8 台
使用木材：ナラ
スツール 2 脚 使用木材：クリ
【2階情報コーナー】
台形テーブル（キャスター付）4 台/スタッキングチェア 10 脚
卓上パーテーション 5 台 使用木材：ナラ
パンフレットラック 2 台 使用木材：ヒノキ（大阪府産）





守口市

守口市庁舎(庁舎1・3階赤ちゃんの駅、庁舎3階もりランド)

庁舎

写真提供：守口市



【1階赤ちゃんの駅】パーティションと荷物置棚

親子が集う場所として荷物を置く棚や靴箱が古く不揃いなため見栄えもよくなかったが、木材を使用した棚等の備品を揃えたことで部屋の統一感がでて温かみのある景観と木の感触や木の香りを感じてもらうことで居心地の良い場所になり保護者からも好評であった。

また、赤ちゃんの駅についても授乳中のお母さんがリラックスでき掲示板を設置することで子育て情報の発信もできるようになった。

担当課 総務部 総務課
事業費 1,833 千円(全額譲与税)
実績 ※使用木材はすべて国産

【1階赤ちゃんの駅】荷物置棚(2段オープン棚)1台/パーティションL型 1台 使用木材：スギ

【3階赤ちゃんの駅】荷物置棚(2段オープン棚)1台/掲示板(小)(壁掛け)1台/パーティションI型 1台 使用木材：スギ

【3階もりランド】荷物置棚(3段オープン棚)3台/掲示板(大)(壁掛け)1台/下足箱(大人・子ども兼用)1台/パンフレットラック 1台 使用木材：スギ
ベビーベッド 1台 使用木材：スギ圧縮材



【3階もりランド】ベビーベッド



【3階もりランド】荷物置棚



【3階赤ちゃんの駅】掲示板(小)



守口市

にじいろ認定こども園、あおぞら認定こども園、外島認定こども園

認定こども園

写真提供：守口市



【外島認定こども園】赤ちゃんの登り台とおもちゃ

公立認定こども園において、国産木材を使用した様々な木製のおもちゃ、遊具等を購入し、園児が身近に木の温かみを感じられる環境を作った。木のおもちゃの香りや触り心地は園児の五感を刺激するようで、表情も自然と明るく穏やかになった。

また、玄関ホールにも国産木材を使用した遊びの空間を創出し、机等にラベルを貼り国産木材を使用していることを広く周知することで、保護者等の来園者にも国産木材の良さと温かみを実感してもらうきっかけに繋がった。

担当課 こども部 こども施設課
事業費 3,026 千円(うち譲与税 3,000 千円)
実績 ※使用木材はすべて国産

【にじいろ認定こども園】
ゾーニング収納ロッカー 1台/タオル掛け(20名用) 2台/
パーティション 2種 計3台/絵本たて 1台/変化テーブル 4種
計4台/変化いす 8脚/角テーブル 1台 使用木材：ヒノキ

【あおぞら認定こども園】
ままごとキッチン 1台/ままごと流し台 2種 計2台/ままごと
コンロ 1台/ままごと冷蔵庫 1台/ままごとキッチン棚 1台/
丸テーブル 2台/平板積み木 5セット 使用木材：ヒノキ
角材砂場枠 1式 使用木材：スギ(防腐防蟻材加圧注入)

【外島認定こども園】
赤ちゃんの登り台 1台 使用木材：ヒノキ
玩具 10種 計40セット 使用木材：スギ、ヒノキ、広葉樹
ベビーベッド 1台 使用木材：スギ圧縮材

【共通】
玩具 3種 計49セット 使用木材：広葉樹
絵本たて 計3台 使用木材：ヒノキ



【あおぞら認定こども園】砂場枠



【にじいろ認定こども園】家具とおもちゃ

木造化

木質化

木製品



東大阪市

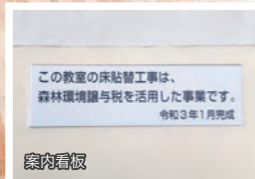
花園小学校、玉串小学校、楠根小学校、楠根中学校

小・中学校

写真提供：東大阪市



楠根小学校 少人数教室



案内看板

東大阪市では、市内の小・中学校における教室の床貼替工事を始めた木材利用を促進するとともに、森林の状況を把握した上で、森林所有者の意向に基づく民有地の森林整備の可能性について検討し、適切な森林整備に関する計画を定め、実施していく方針である。令和2年度は、小学校3校、中学校1校の計18教室において国産材を活用した床貼替工事を実施した。児童や保護者等に森林整備や木材利用の重要性を伝えるため、床貼替工事を実施した教室には、森林環境譲与税を活用した旨を表示したプレートを設置した。

担当課 教育委員会事務局 施設整備室
事業費 25,160.3 千円(うち譲与税 19,621 千円)
実績 ※使用木材はナラ、ヒノキ等(すべて国産)

【花園小学校】教室床(2教室)床面積 107㎡

【玉串小学校】教室床(6教室)床面積 332㎡

【楠根小学校】教室床(5教室)床面積 263㎡

【楠根中学校】教室床(5教室)床面積 271㎡



八尾市

八尾市保健センター

保健センター

写真提供：八尾市



相談スペース

妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児のさまざまな相談支援を行う相談スペースにおいて、国産材を利用したテーブル、椅子、パーティションを設置することで、相談スペースの木質化を図り、市民等に対して木材利用の啓発を図った。木のぬくもりとやわらかさを感じてもらいながら、リラックスした雰囲気のおかげで、ゆったりと相談を行えることにつながった。

担当課 健康福祉部 健康推進課
事業費 1,184 千円(全額譲与税)
実績 ※使用木材はすべて国産
テーブル 3台 使用木材：クリ、ブナ
椅子 6脚 使用木材：スギ、クリ、ブナ
パーティション 8台 使用木材：ヒノキ



八尾市

八尾市立西郡そよかぜこども園ほか、4園

幼保連携型認定こども園

写真提供：八尾市



タオル掛け

椅子

八尾市立認定こども園において、令和3年度から新たに実施する一時預かり事業で使用する机、椅子、玩具等を、国産木材を使用した製品で整備した。0歳～5歳の子どもが利用するため、年齢に応じたものや幅広い年齢が利用できるものをバランスよく整備した。また、子どもが木のぬくもりとやわらかさを感じられ、かつ、安全性に配慮した製品となるように仕様書を工夫した。令和3年4月から一時預かり事業を開始し、子どもたちに利用されている。

担当課 こども若者部 こども施設運営課
事業費 2,478 千円(全額譲与税)
実績 ※使用木材はすべて国産
タオル掛け 5台 使用木材：ナラ/オープン棚 12台 使用木材：スギ
ままごとちゃぶ台 5台 使用木材：ヒノキ/椅子 20脚 使用木材：ヒノキ
机 5台 使用木材：ヒノキ/ベビーベッド 1台 使用木材：ナラ
木製おもちゃ(食料セット、ひのきコースター、魚釣りセット、ガラガラシリーズ、積み木、ドロップボックス)5セット 使用木材：ヒノキ



松原市 市内公共施設



ベンチ

木造化

木質化

木製品

休憩所

写真提供：松原市

市民や来訪者が市政情報や観光情報をゆっくりと閲覧できるよう、市内公共施設のホール部分におおさか河内材を用いて製作したベンチを設置して休憩所として整備し、国産木材の魅力を伝え、南河内地域一帯のPRに繋がるよう工夫した。

担 当 課 観光・シティプロモーション課
事 業 費 231 千円（全額譲与税）
実 績 ベンチ 4 台 使用木材：スギ（おおさか河内材）



焼印



松原市 鯉野池オアシス広場



水上デッキ

木造化

木質化

木製品

浮見堂

写真提供：松原市

鯉野池オアシス広場における浮見堂床板の老朽化が著しく、ウッドデッキ下には池があり、転落する恐れがあるため、床板を張替えることで、利用者の安全を確保するとともに、おおさか河内材を利用した改修を行うことにより、地元の国産木材を活用した森林環境譲与税の取組状況を周知している。

担 当 課 産業振興課
事 業 費 1,617 千円（全額譲与税）
実 績 床板 407 枚 使用木材：ヒノキ（おおさか河内材）



藤井寺市 藤井寺市庁舎2階 ふじいでら子育て世代包括支援センター



カウンター

木造化

木質化

木製品

庁舎

写真提供：藤井寺市

市庁舎2階に妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援を行うためのふじいでら子育て世代包括支援センターを開設するにあたって、カウンターと椅子に国産（大阪産等）木材を使用することで、木のぬくもりのある空間を創生することができた。

利用者からは、木の温かみ・やさしさがあ、さらにほのかなヒノキの香りがし、とても気持ちが安らぐ場所で、ゆっくりと相談することができたといった声も聞かれた。

妊娠して藤井寺市との初めての接点の場として、よい環境づくりをすることができた。

担 当 課 健康福祉部 健康課
事 業 費 2,728 千円（全額譲与税）
実 績 カウンター 1 式 使用木材：ヒノキ（大阪府産）
椅子 4 脚 使用木材：広葉樹（国産）



千早赤阪村 子育て出産祝い事業



積み木セット

木造化

木質化

木製品

積み木セット

写真提供：千早赤阪村

本村では人口減少、少子高齢化の進捗が著しく、出生数も年間 20 人を切る状態である。このような中、子育て世帯が少しでも村に愛着がもてるよう、地元産材である「おおさか河内材」を使用した木製品玩具をプレゼントする「子育て出産祝い事業」を令和元年度から実施している。事業内容は、村内で誕生した赤ちゃんに出産祝い品として、積木を4か月児健康診査時に贈呈。広報紙で紹介をしている。小さな頃から木製品に触れることで、木の良さや温もりを感じてもらうとともに、おおさか河内材を活用することにより、地元産材のPRにもつながった。さらに、木材の普及啓発活動に取り組むことで、村内の適切な森林整備の促進に寄与することができた。

担 当 課 福祉課、観光産業振興課
事 業 費 127 千円（全額譲与税）
実 績 子育て出産祝い事業 積み木セット 20 個
使用木材：スギ・ヒノキ（おおさか河内材）



※おおさか河内材とは河内長野市、千早赤阪村、河南町一円で産出される木材をいう。



田尻町 田尻町立幼稚園・保育所（たじりエンゼル）



収納棚

木造化

木質化

木製品

幼稚園・保育所

写真提供：田尻町

幼稚園・保育所の保育環境の向上及び森林・林業への理解促進を図るため、森林環境譲与税を活用し木製備品を購入した。

テーブル・ベンチは、園庭に設置しており、園児がままごとをする際になどに使用している。屋外に設置することから、耐候性・耐久性を考慮した。

また、棚は、園児が遊ぶおもちゃを収納することから、園児が使いやすいサイズのものを購入した。

幼保関係者からは、「(テーブル)木製でずっしりしているので、転倒等の心配がなく安心して使用できる。(収納棚)子どもたちの背丈に合ったちょうどいい高さで幼稚園のウッドデッキ調の内装にもなじんでいる。」と好評で、園児の健やかな成長に寄与している。

担 当 課 民生部 こども課
事 業 費 791 千円（うち譲与税 674 千円）
実 績 ※使用木材はすべてヒノキ（大阪府産）
テーブル・ベンチ（運動場に設置）1 式／収納棚 5 台



岬町 みさき公園駅前観光案内所



カウンター

木造化

木質化

木製品

事務所（観光案内所）

写真提供：岬町

施設利用者に森林・林業に対する理解の醸成や親しみを持ってもらうことを目的として、新たに整備したみさき公園駅前観光案内所に岬町産木材を使用した木製カウンターを設置した。木製カウンターを設置することによりぬくもりのある空間を創出できたとともに、岬町産木材を使用することにより多くの町民の方に森林に関心を持ってもらうきっかけに繋がった。

担 当 課 産業観光促進課
事 業 費 200 千円
実 績 カウンター 1 台 使用木材：ヒノキ（大阪府産）



和泉市 和泉市新庁舎

庁舎

写真提供：和泉市



新庁舎は、「市民の安全安心を支える庁舎」、「市民にやさしい、利便性の高い庁舎」、「環境にやさしい、ライフサイクルコストに配慮した庁舎」の3つの基本コンセプトのもと、ユニバーサルデザインを取り入れた、“誰もが利用しやすい庁舎”をめざし整備した。災害時には、市民のくらしを守るため、免震構造や自家発電設備を採用し、防災拠点としての機能を充実させた。また、市民利用が多い窓口を低層階に集約するとともに、各階2ヶ所に“バリアフリートイレ”を設置し利便性の向上にも注力した。

これらに加え、太陽光発電設備はもとより、雨水をトイレ洗浄水や散水に利用するなど、環境にも配慮した。【設計者のコメント】

リラックス感を得やすく、愛着が高まるといった心理的な効果をねらい木質化空間を計画した。また、木材を利用することで社会貢献・地域活性化につながり、SDGsで掲げられる持続可能な開発目標に寄与できることから、環境にも人にもやさしい建物へと計画を行った。

1階エントランスを中心に、市民が直接目にふれる部分について木質化を図ることで、やわらかく市民を受け入れる事ができる窓口空間となった。

所在地 大阪府和泉市
敷地面積 13,616.59㎡
構造/階数 免震構造 鉄骨造 一部CFT造/
地上7階
建築面積 2,210.89㎡
延べ床面積 11,991.69㎡
耐火性能 耐火建築物

使用木材 壁、天井：桧（和泉市産）
家具：杉（和泉市産）
木材使用量 11.5㎡
設計監理 株式会社梓設計 関西支社
施工会社 浅沼組・深阪工務店・
総合企画設計特定建設工事共同企業体
竣工年月 2021年4月（新庁舎棟）

木造化

木質化

木製品

子育て支援施設

写真提供：堺市



堺市（区分所有部分） さかいっこひろば（ジョルノ3階）



子どもと保護者が、集い、憩い、交流し、学べる場として、令和3年4月に開設した子育て支援施設。子育てに関する相談や情報提供も行っている。赤ちゃんも安心して過ごせる「赤ちゃんのお部屋（授乳室・おむつ替え室もあり）」や絵本に親しむ「絵本のお部屋」、交流スペースのある『つどいの場』と、遊具を使って親子でふれあい、体を動かして楽しめる『あそびの場』の2つのエリアがある。ひろば内では堺市の友好都市である奈良県東吉野村の吉野杉を受付カウンター等に使用している。とりわけ『つどいの場』では、赤ちゃん専用スペースの棚やエリア全体の壁面、絵本棚等に吉野杉の木材を使用しており、木のぬくもりや香りが利用者からも好評である。

所在地 大阪府堺市堺区
敷地面積 3,661.65㎡
構造/階数 鉄筋コンクリート造
一部鉄骨造（耐火被覆あり）
陸屋根
地下2階 地上25階
（うち3階部分区分所有）
建築面積 3,184.61㎡（うち511.88㎡）
延べ床面積 10,466.51㎡
耐火性能 耐火建築物
使用木材 本棚、収納棚、受付カウンター：
スギ（東吉野村産）
木材使用量 3.5㎡
設計監理 設計：株式会社土屋総合設計
監理：株式会社内藤設計
施工会社 有限会社清川工務（内装工事）
竣工年月 2021年2月



堺市（区分所有部分） パスポートさかい（ジョルノ2階）

旅券事務所

写真提供：堺市



パスポートさかいでは、堺市内にお住まいの方のパスポート（旅券）発給を行っている。大阪府からの事務委譲により、2012年（平成24年）10月より市役所本館1階に開設。2021年（令和3年）5月に、現在の市役所向かいのジョルノ2階（再開発ビルの商業エリア）に移転した。堺東駅と堺市役所の双方からデッキで直結しており、利便性の高い立地となっている。

内装コンセプトは、飛行機の窓から眺める景色の逆転である。大空をフロアに配し、雲の壁、森に囲まれて、2020年に世界遺産となった百舌鳥古墳群を見上げていただく設計となっている。渡航の往復に、機上からこの景色を見ていただくと、世界遺産の壮大さをあらためて堪能していただけることうけあいである。森を担うカウンター、記載台、間仕切りには、1986年から友好都市として堺市と交流を重ねてきた東吉野村の良質な杉の無垢材をふんだんに使用している。杉のぬくもりと香りをたっぷり感じる魅力ある空間を創出している。

所在地 大阪府堺市堺区
敷地面積 3,661.65㎡
構造/階数 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造（耐火被覆あり）陸屋根
地下2階 地上25階（うち2階部分区分所有）
建築面積 3,184.61㎡（うち511.88㎡）
延べ床面積 10,466.51㎡
耐火性能 耐火建築物
使用木材 記載台、案内・申請・交付カウンター、
間仕切り：スギ（東吉野村産）
木材使用量 0.7㎡
設計監理 設計：株式会社土屋総合設計 監理：株式会社内藤設計
施工会社 有限会社清川工務（内装工事）
竣工年月 2021年2月



堺市 百舌鳥古墳群ビジターセンター

教育文化施設（ビジターセンター）

写真提供：堺市



百舌鳥古墳群ビジターセンターは、令和元年7月に世界遺産に登録された百舌鳥・古市古墳群の価値や魅力を伝え、百舌鳥古墳群を含む市内周遊を促す拠点施設として、令和3年3月にオープンした。世界遺産百舌鳥・古市古墳群の価値や魅力を紹介する展示コーナー、超高精細な8K空撮映像等を壁から床まで投影し、古墳群の雄大さや堺の歴史文化を迫力ある映像で体感できるシアター、古墳グッズや堺の名産品の販売を行う物販コーナーに加えて、堺市内の観光情報を提供する大仙公園観光案内所を併設している。特に、シアターの8K空撮映像は圧巻であり、来館者からも好評を得ている。

当センターは、既存の建物を改修して整備したものであり、堺市出身の空間デザイナーである間宮吉彦氏にコンセプトデザインをご提案いただいた。

物販コーナーの棚やカウンターに、堺市の友好都市である奈良県東吉野村産の吉野杉の木材を使用しており、当センター内に木の持つぬくもりをもたらしてくれている。

所在地 大阪府堺市堺区
敷地面積 1,190.57㎡
構造/階数 鉄骨造（一部鉄筋コンクリート造）鋼板葺平家建/地上1階
建築面積 589.19㎡
延べ床面積 477.59㎡
耐火性能 準耐火建築物
使用木材 物販コーナー棚及びカウンター：スギ（東吉野村産）
設計監理 設計：株式会社建綜研/監理：株式会社市岡建築事務所
施工会社 株式会社ハマテック
竣工年月 2020年12月



守口市 守口市立さくら小学校

木造化

木質化

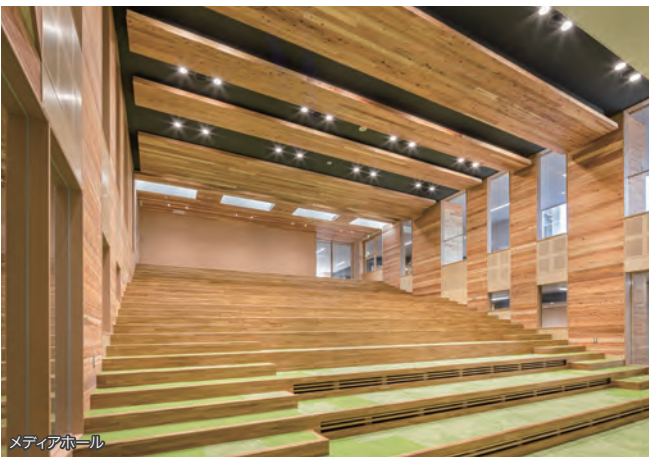
木製品

小学校・巡査派出所・集会所

写真提供：松村 芳治・株式会社伸和・株式会社昭和設計



普通教室



メディアホール



アクティブスペース



多目的スペース



音楽室



芸術広場

三方に戸建住宅が密集し、小学校、交番、公民館、幼稚園等があった敷地に、2校の小学校を統合する計画である。旧建物配置と同様の配置とすることで周辺環境の影響を最小限に抑えた。

100年以上前からまちを見守る三本のクスノキを保存することで地域のシンボルの継承も計る。クスノキをはじめとした豊かな屋外空間と木をふんだんに使用した内部が一体となり、都市部において学校全体で木に包まれた学びの場を目指した。木質化を図るだけでなく、学校機能としても児童が授業時間を問わず、それぞれの興味関心に従い、学びが展開する場となるように計画を行った。建物の内外含め、校舎全体に掲示可能なストランドボードを使用し、機能と美観の両立を図った。学びだけでなく、生活空間としても落ち着きや居心地の良さを生む場所に木材を使用することで、児童がクールダウンを図る場所としても効果を発揮している。

ハードだけでなく、木材循環を考えるサインをつくり、環境意識向上も図る。さらに計画と実際の建物の感じ方の差異をVRで検証し、よりよい学校・木の使用方法の検証も行う。

先生方からは様々な学びの場とともに各児童に合わせた環境を創ることができるので、先進事例として、児童が主体的に考え・学びを展開する場を実現していきたいという熱いお話もお聞きしている。

所在地 大阪府守口市
敷地面積 16,258.38㎡
構造/階数 木造 + 鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）/地上3階
建築面積 5616.32㎡
延べ床面積 10316.36㎡
耐火性能 耐火建築物
使用木材 普通教室 フローリング：カバ（国産）
普通教室等 黒板・掲示板：ヒノキ（国産）
普通教室等 構造部材：スギ（国産）、米松
多くの部分の壁仕上げ：スギストランドボード（国産）

木材使用量 396.93㎡（国産）
設計監理 株式会社昭和設計
施工会社 南海辰村建設株式会社
竣工年月 2021年3月

※「多目的スペース」以外の写真は全て ©Y.Matsumura



河内長野市 イズミヤ ゆいテラス 河内長野

木造化

木質化

木製品

事務所・多目的スペース

写真提供：河内長野市



カウンター



ベンチ

河内長野市では、エイチ・ツー・オーリテイリング株式会社と令和元年6月に「河内長野市の資源を活かしたまちづくりに関する連携協定」を締結し、同社との連携により、地域の活性化に資するまちづくりを進めている。

この協定に基づき、イズミヤ河内長野店4階フロアについて、同社から無償貸与による公益的活用の要望があり、「地域住民が住み慣れた場所で健康で生きがいを持ち多世代が交流しながら暮らし続けられるまち」の実現を図るため、地域まちづくり支援拠点として「イズミヤ ゆいテラス 河内長野」を整備した。

整備にあたっては、地元木材である「おおさか河内材」を活用することにより、利用者が地域の魅力を感じることができる空間を提供するとともに、「おおさか河内材」の利用促進や市民の環境負荷軽減への取り組みへの関心を高めている。

「イズミヤ ゆいテラス 河内長野」では、広場のように誰でもいつでも集えるフリースペースや、多目的に利用できる貸部屋を備えることにより、地域住民や団体主体の多様な取り組みを支援し、多世代が交流するまちづくりを推進している。また、同フロアにて河内長野市社会福祉協議会等の公共性の高い団体の機能を集約することにより、多様な主体による協働を促進し、新たな価値、新たな相乗効果を創出していく。

所在地 大阪府河内長野市	木材使用量 14.51㎡ (全て河内長野市産)
敷地面積 614.08㎡	設計監理 大阪府森林組合
構造/階数 鉄筋コンクリート造/地上4階	施工会社 大阪府森林組合
建築面積 -	竣工年月 2021年3月
延べ床面積 2,716㎡(改修部分面積)	
耐火性能 耐火建築物	
使用木材 小多目的スペース A・B・C 壁：スギ	
小多目的スペース A・B・C フレーム：スギ	
大多目的スペース、ボランティアセンター フレーム：スギ	
フリースペース テーブル・ベンチ：スギ	
枠材等：ヒノキ	
建具用集成材：ヒノキ	
カウンター、テーブル用集成材：ヒノキ	
※上記全て使用木材は河内長野市産	



スターバックス コーヒー ジャパン株式会社 スターバックス コーヒー 河内長野高向店

飲食店

写真提供：スターバックス コーヒー ジャパン株式会社



外観



店内

「スターバックス コーヒー 河内長野高向店」は、市内の面積の約70%が森林である豊かな自然に囲まれた河内長野市に新店を出店しています。

2019年、大阪・梅田に「スターバックスの森」として店内におおさか河内材や大阪産のクリの木など、地元木材を使用した「スターバックス コーヒー LINKS UMEDA 2階店」が誕生し、そこでの地域との交流や地元の皆さまのお声をいただき、河内長野市への出店が実現しました。店舗は「つながりを生み出す、つながりのきっかけの場所」をコンセプトに、地域のコミュニティの場としてお客様にリラックスした時間を過ごしていただけるように、地域と連携して店舗づくりを進めてきました。店内の家具は、大阪府森林組合南河内支店、飛騨産業株式会社と共同開発。家具を通じて地元の豊かな自然に想いを馳せていただくとともに、サステナブルな未来に向けて一歩踏み出すきっかけになればと想いを込めました。地域のお客様を想い、職人たちの情熱が詰まったテーブルや椅子は、自然の恵みを受けて大切に育てられた「おおさか河内材」を使用し、木が持っている温かみや質感、手触り、香りなど、木のぬくもりをダイレクトに感じていただけます。壁面には木糸で作られたタペストリーにアートを施すなど、木を通じて地域とつながり、またコーヒーを通じて人と人とのつながりが育まれるような空間に仕上げました。

所在地 大阪府河内長野市
敷地面積 209.02㎡
構造/階数 鉄骨造 地上1階
建築面積 233.16㎡
延べ床面積 218.86㎡
耐火性能 その他建築物
使用木材 外壁及び家具（店内椅子、テーブル）：スギ、ヒノキ
木材使用量 3.1㎡（すべておおさか河内材）
設計監理 正木建設株式会社、株式会社植田設計
施工会社 正木建設株式会社
竣工年月 2021年9月



神戸市

六甲最高峰トイレ

木造化

木質化

木製品

公衆トイレ、休憩スペース、園地

写真提供：神戸市



外観



アプローチ



休憩スペース

既設トイレの老朽化および冬季の凍結による使用制限等の課題を解決するため、公衆トイレの建て替えを行った。このトイレ再整備のポイントは、公衆トイレの充実(数、機能とも)とあわせて、ハイカーが休憩できるスペースを確保していることである。延床面積 267.9 m²のうちトイレの面積は約 83 m²で、その他は大版の CLT パネルを連続させた大屋根の下にベンチを配置した空間となっており、夏の強い日差しや雨を避けて休憩できるように計画した。

トイレに面する園地も同時に整備し、ハイカーが思い思いの場所で山頂での時間を過ごせるようになった。

六甲の山並みをイメージした屋根形状の他、CLT が表しの屋根見上げ面、杉材張りの外壁、六甲産材で構成するベンチなど木材をふんだんに使用することで、六甲山の景色に溶け込むデザインとした。

標高 930mの山頂付近に位置するため、工事中から高い湿度に悩まされたが、今後も木材へのカビの発生を注視するなど、定期的な点検が重要と考えている。

(設計業務委託先の選定にあたっては簡易プロポーザル形式とし、施工業者は一般競争入札において決定した。)

所在地 神戸市北区
敷地面積 1,796.26 m²
構造/階数 鉄骨造(屋根 CLT パネル)、一部木造/平屋建て
建築面積 229.1 m²
延べ床面積 267.9 m²
耐火性能 その他建築物
使用木材 屋根 CLT (兵庫県産杉・桧混合)、
外壁(国産杉、六甲産材コナラ他)、
木造梁(米松)、ベンチ(六甲産材コナラ他)

木材使用量 105.44 m³(内国産材 79.39 m³、外国産材 26.05 m³)
設計監理 設計監理：神戸市、設計業務委託先：株式会社 ofa
施工会社 有限会社ビームスコンストラクション
竣工年月 2021 年 3 月



神戸市

神戸市立名谷図書館

木造化

木質化

木製品

図書館

写真提供：神戸市



館外から



キッズコーナー

神戸市の計画する駅前活性化プラン「リノベーション神戸」の対象エリア内における賑わい創出を目的として新しく整備された図書館である。同時期に40周年のリニューアルを行った大丸須磨店の4階に設置された。設計・施工は大丸須磨店のリニューアルと同じ会社に依頼。同百貨店が地域密着型で日常的に多くの住民が訪れる店舗であること、神戸市としては子供や子育て世代、近隣の学生、高齢者等多様な世代のそれぞれに親しんでもらいたいという思いから、明るく温もりのある空間をイメージする中で、木を多用するプランを選択した。このコンセプトとデザインを表すため、図書館の愛称を「TOMARIGI(止まり木)」とした。

木材はエントランスにシンボリックに配置された丸太ベンチのほか、館内のカウンターやベンチ、壁面書架などに使用している。図書館への来館者が加わったことで学生や仕事帰りの人の来店が増え、大丸須磨店の来店者層に広がりが生まれたとのことである。また利用者からは温かみのある居心地のいい空間との声をいただいている。

メンテナンス上の課題としては、生の木を使用していることから、時間の経過とともに発生する亀裂や反りへの対応がある。

所在地 神戸市須磨区(大丸須磨店4F)
敷地面積 6294.19 m²
構造/階数 鉄筋コンクリート造/地上5階・塔屋1階
建築面積 5,033.63 m²
延べ床面積 1,298 m²(図書館部分)
耐火性能 耐火建築物
使用木材 多目的コーナー・キッズコーナー・エントランス回り
(六甲山小学校/六甲産材)

木材使用量 約 870kg
設計監理 株式会社エイムクリエイツ
施工会社 株式会社エイムクリエイツ
竣工年月 2021 年 3 月



●ソーシャルデザイン部門



西脇市

西脇市庁舎・市民交流施設

木造化

木質化

木製品

庁舎・集会場

写真提供：松村 芳治



議場



西側外観

オリナスラランジ

他の市町村と同様に中心市街地の空洞化・少子高齢化などの社会変化に対応すべく、にぎわいを創出する新たな公共空間を求められた。

そこで「市民が主役となり、市民が育む共創の場」として交流・文化・行政・交通の拠点となる場を目指し、600 席を有するホールをはじめとする 9 つのスタジオと市庁舎機能の複合建物として計画した。

「共創の場」とするために、開口部と吹抜けを介し、多くの人が興味関心をもつきっかけづくりとなるようにスタジオの様々な活動が見る・見られる関係を形成した。共用部には温かみをもち、居心地が良い休憩や談笑スポットとなるように木材を多く使用した空間を設け、運用後も地域の人々が井戸端会議をするなど日常的に人々にぎわいをみせている。

また、議場は市の地場産業である播州織の織物構成をイメージした木格子天井、シバザクラ(市の花)をイメージした床とすることで西脇市の特徴を表す構成とした。庁舎の受付カウンターにも、温かみを感じてもらえるように西脇市産の木を使用するなど各所で市産材の木や播州織を想起させるものを用いた。

賑わい・活動の拠点とともに併設したカフェをはじめとして、気軽に立ち寄れる場を設けることで活動と憩いが両輪となり、市民活動に合わせて更新され続けていく場となることを願っている。

所在地 兵庫県西脇市
敷地面積 20,321.40 m²
構造/階数 鉄骨造、一部鉄筋コンクリート、
鉄骨鉄筋コンクリート造/地上4階
建築面積 7,086.22 m²
延べ床面積 13,518.03 m²
耐火性能 その他建築物
使用木材 家具本体及び扉：杉板目練付合板(西脇市産)
移動ワゴン：桧無垢材(西脇市産)
壁及び天井材：杉板目練付不燃板(西脇市産)

設計監理 株式会社昭和設計
施工会社 大日本土木株式会社
竣工年月 2021 年 3 月

※写真は全て ©Y.Matsumura



黒滝村 黒滝村役場

木造化

木質化

木製品

役場窓口カウンター及び玄関ホール

写真提供：飛騨産業株式会社



黒滝村産の「木のイエ」が訪れる人を出迎える

改修前の窓口カウンター

奥吉野・黒滝村は吉野杉の名産地で、木と森を育む村である。地元のスギ・ヒノキを使って、築 43 年の役場窓口をリニューアル。住民や職員が、木のぬくもりを身近に感じ、親しみがもてる役場へと、コロナ感染防止も併せて一新した。地元の美しい木目のスギ材と、職人の手しごとで「木のイエ」をつくる。適材適所、つなげたり、囲んだり配置することで、窓口、ロビー全体を計画。

訪れる人がすぐ見てわかるように、相談窓口は、「木のイエ」、木のカウンターとアクリル板を一体組み、各課ごとに、訪れる人を出迎える。ジグザグ気味に平面配置することで「木のイエ」は、構造的にも安定し、変化に富む黒滝村の山並み、家並みが出現した。既存ロビーは、ルーバーや棚が一体化された「木のイエ」で囲まれた《暮らしラボ》として、気軽にミーティングや、みんなが集えるひろば的存在に生まれ変わった。《情報コーナー》は持ち寄りで、黒滝村産のひと・もの・ことを紹介し、常に村の発信拠点として更新し続ける場へと望まれる。

「木のイエ」とともに、家具やあかり、サインをトータルでデザインする。行為をもとに、「木のイエ」をつないだり、連ねたり、囲んだりして、ひとの居場所をつくる。

そうすることで、黒滝村役場は、訪れる人や職員にとって、『おうち』みたいに身近な存在となり、未来へ向けた『ひと・もの・ことが出会い、ことがはじまる』拠り所としてスタートする。

所在地 奈良県吉野郡黒滝村
敷地面積 3,715.51 m²
構造/階数 RC構造/2 階建
建築面積 860.49 m²
延べ床面積 1,346.36 m²
耐火性能 その他建築物
使用木材 窓口カウンター・テーブル・椅子：吉野スギ（一部ヒノキ）
90年生（黒滝村産）
木材使用量 19,436 m³（すべて黒滝村産）
木質化面積 95.4 m²
設計監理 設計：間工作舎
施工会社 黒滝村森林組合（飛騨産業株式会社）
竣工年月 2021 年 3 月



「木のイエ」がジグザグに配置された窓口カウンター



情報コーナー



暮らしラボ



相談窓口



職員側のカウンター下



西栗倉村 あわくら会館

木造化

木質化

木製品

庁舎、生涯学習施設

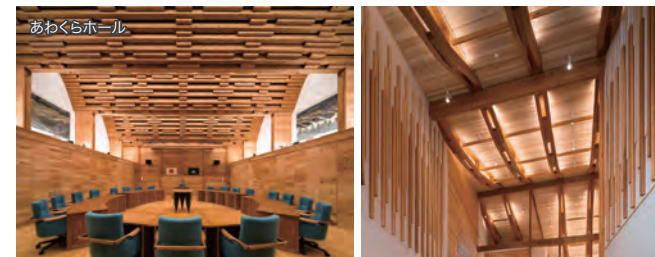
写真提供：浅田美浩（ヴィブラフォト）



執務スペース



外観（国道側）



あわくらホール



百森ひろば



通り抜けの階段

村域の9割が山林の西栗倉村は、2004 年に地域資源から仕事を生み出す企業型人材の発掘・育成と、地域資源の核となる森林を活用する「百年の森林構想」をスタート。

起業し育ってきた川上〜川下の村内事業者の協働体制の構築と、百森構想により集約管理やFSC認証が進められてきた村の木の価値の最大化がテーマとなった。構造材・板材の分離発注、木材供給との密な情報共有、工期の二分割化・伐期との調整等により、村内事業者による木材調達の時間を確保。山へのリターンに配慮し原則として製材を用い、大スパンも賦存量の多い丸太から採れる寸法の製材で架け渡した。

フローリングや外壁、天井等の板材、FSC認証構造用合板等の新製品を生み、木製家具は村内事業者と開発、試作、レビューを行い質を高め、ラインナップを拡充するなど将来に資するプロセスを進め、村産材率97%を達成した。あわくら会館では様々な人々の様々な活動のために、ひとつながりの自由度の高い空間が求められた。大スパン架構や開発した格子耐力壁、木製家具により、内外の連続性と共に人々の一体感や自由な発想の空気感を実現し、木とともにある村の人々の活動の場をかたちづけている。

所在地 岡山県英田郡西栗倉村
敷地面積 5,398.05 m²
構造/階数 木造（在来軸組構法）、一部鉄筋コンクリート造/地上2階
建築面積 2,360.45 m²
延べ床面積 3,461.31 m²
耐火性能 その他建築物（一部耐火建築物）
使用木材 土台・大引・柱・梁・外壁・軒天・野地板、
内壁・天井・床の一部、造作、下地、
木製建具＝スギ、床＝ヒノキ
木材使用量 967.70m³（うち西栗倉村産材 936.16 m³）
設計監理 株式会社アルセッド建築研究所
施工会社 梶岡建設株式会社
竣工年月 2021 年 4 月





学校法人 片山学園 小郡幼稚園

木造化

木質化

木製品

幼稚園

写真提供：左・右上／安成工務店・他／編巻 豊



教室



土間



講堂



園庭



南側外観

所在地	山口県山口市
敷地面積	4,664.69 m ²
構造／階数	木造、縦ログ構法・在来工法／地上1階
建築面積	1,222.67 m ²
延べ床面積	1,062.64 m ²
耐火性能	その他建築物
使用木材	構造材・外壁・内部壁・床・天井・下地材・建具・ 家具：スギ（山口県） 長尺材：スギ（静岡県、奈良県） 丸太：スギ（奈良県）、地マツ（奈良県、島根県） 土台：ヒノキ（山口県） 加工：山口県
木材使用量	610 m ³ （内山口県産材 557 m ³ ）
設計監理	竹原義二／無有建築工房
施工会社	株式会社安成工務店
竣工年月	2020年3月

小郡幼稚園の新園舎建設は、民間事業者による森林づくり木造公共事業の一環として、山口県の農林事務所と連携しながら県産材の積極的な利用と普及活動を行うことを目的の一つとして出発した。

特殊な技術を用いるのではなく、いわば技術のローカルな標準化により生産者からエンドユーザーまで、目に見える木材の流通と費用対効果を見据えた県産材の普及を行うことを目指した。

構造計算が必要な大規模な木造建築物の場合、建築基準法で定められた木材の強度や含水率の確保が前提となる。そのため、品質管理が可能な高温乾燥材（KD材）や集成材、また近年では CLT を使うことが一般的となる。

地域材活用にあたり、通常の県内の流通枠を超える木材を確保するため、事業スキームを構築し、前年度より川上から川下への連携を行った。伐採計画、事前発注、乾燥、加工の工程を入念に計画し管理した。また、県の森林組合連合会の協力のもと適切な木の伐採時期を考え、特に縦ログに使う主だった木は新月に向かう期間に伐り出された。

長尺や大断面の材、丸太の乾燥材は建築材料としての需要が少なく県内市場には流通しておらず、例外的に県外から良材を集めた。使用した木材の大半は、低温木材乾燥装置「愛工房」で 45℃という温度で乾燥させた。

木本来の養分や香り、ツヤといった性質を保ち活かせる技術である。今回の工事に合わせて県内にも設置され、乾燥に大いに活用された。

高温乾燥材もしくは天然乾燥材を使う選択肢以外に、低温乾燥という技術を知り、その効果と可能性を実感することができた。



各務原学びの森株式会社

KAKAMIGAHARA PARK BRIDGE

木造化

木質化

木製品

子どものあそび場

写真提供：楠瀬 友将



北側外観

©Kusunose Tomoyuki



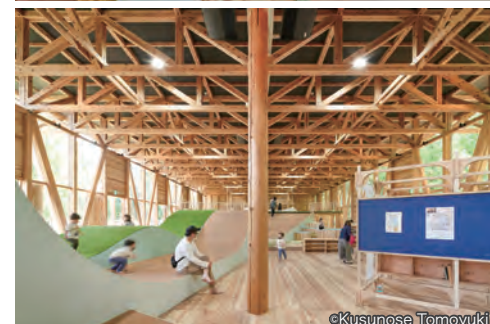
東側外観

©Kusunose Tomoyuki



あそび場

©Kusunose Tomoyuki



©Kusunose Tomoyuki

本施設は旧岐阜大学跡地を整備してつくられた「学びの森」と「各務原市民公園」という自然豊かな2つの公園の間に位置しており、公園の新たな使い方の提案による賑わいやコミュニティ形成を目的に、P-PFI 制度を活用した官民連携事業である。施設内には、公園のように子どもがのびのびと遊べる空間や、パン屋やカフェなどの飲食店が併設している。

地域に根付く親しみある場所にするため、屋外との連続性と地域資源である県産材を活かした木造建築をつくることを大切に。建物の南北面はガラスと開放できる建具で構成している。ガラス面は変化する季節や時間による周辺環境の移り変わりを建物内に取り込み、建具は開放することで風が通り抜け、より外部の自然と一体感を感じられることに加え、適切な換気として、来訪者にとって安心して訪れることが出来るあそび場となっている。

小断面の木材を使用しながらできる限り柱をなくしたトラス梁や、走り回る子どもたちの安全面を配慮した角のない丸柱で構成するなど、構造を意匠デザインに取り込んだ。

また公園で使用できる遊具の貸出やワークショップ等の開催も定期的に行っており、ハードの整備とソフトの仕組みづくりにより、季節を問わず年間通して1日中過せる新しい賑わいの核となる施設を都市公園に生み出した。

2021年ウッドデザイン賞ハートフルデザイン部門 優秀賞（林野庁長官賞）
令和3年度木材利用優良施設コンクール 審査委員会特別賞
第15回キッズデザイン賞子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門 入賞
屋根のある建築作品コンテスト2021 非住宅部門グランプリ

所在地	岐阜県各務原市
敷地面積	2,336.72 m ²
構造／階数	木造、トラス架構／地上2階
建築面積	993.72 m ²
延べ床面積	980.12 m ²
耐火性能	その他建築物（一部耐火建築物）
使用木材	構造材、床材、外壁材、建具等 岐阜県産スギ材、ヒノキ材等
木材使用量	258.089 m ³ （岐阜県産材 225.696 m ³ ）
設計監理	goboc 設計事務所・株式会社 TAB
施工会社	株式会社井上工務店
竣工年月	2021年3月

